

人生のピンチ、どう切り抜ける!?

ゲームで学ぼう! 若者のための 社会保障

2026/3/21 土 14:00
~16:30

病気や失業、パワハラなど、誰しも直面する可能性のあるピンチ。
日本には400を超える社会保障制度がありますが、
その存在を知らなければ、利用することができません。
中高生と一緒に取り組める教材「社会保障ゲーム」を通じて、
社会のセーフティネットを学びましょう。

会場 うみかぜテラス 美術工作室

対象 中学生以上 定員 30人(抽選)

参加費 無料

申込期間 2月6日(金)~3月2日(月)

当選連絡 3月7日(土)までに当選者のみに
電話またはメールで連絡

申込方法 窓口、電話、ウェブ申込フォーム

ウェブ申込
フォーム



こんな方に
おすすめ!

- 中学生・高校生・大学生
- 一人暮らしをしている若者
- 中学生~大学、社会人の保護者
- 子どもたちの支援をしている人
- 教育・福祉の現場で働いている人

※講座の様子は写真・動画で撮影し、HPやSNSなど広報業務に使用します。

申込・お問い合わせ

茅ヶ崎公園体験学習センター うみかぜテラス

☎0467-85-0942 月曜休館

(9:00~21:00、休館日除く)

〒253-0055 茅ヶ崎市中海岸3-3-9

茅ヶ崎公園体験学習センターは、指定管理者である

株式会社タウンニュース社(☎045-913-1220)が管理・運営を行っています。

公式Facebook

公式HP



プログラム

第1部 若者を取り巻く現状について

【講演】根本真紀さん・岩崎愛さん

第2部 社会保障ゲーム

ファシリテーター

●根本 真紀さん

社会福祉士、准認定ファンドレイザー。都内の社会福祉協議会に13年ほど勤めた後、現在はフリーで生活困窮者支援など対人支援のNPOの活動に携わる。まずは「つながる」ことを大事に、専門性と関係性の間を行ったり来たりしている。



●岩崎 愛さん (リトルハブホーム代表理事)



東洋大学社会福祉学科卒。こどもシェルター、障がい介助員など、子どもたちと過ごし、地域での居場所の必要性を感じる。2021年茅ヶ崎市移住。同年から『ちいさなハブ(拠点/存在)』がつながれば、まち全体が一つのHomeに』をコンセプトに活動開始。子どもも大人も安心して育ち合う拠点「みんなの家」を地域のボランティアと開いている。

